

# SCD エクスプレス™ 安全上のご注意

## 次の患者へのレッグスリーブを装着しての使用禁止：

■皮膚炎、静脈結紮（手術直後）、壊疽、最近行った皮膚移植 ■重度の動脈硬化症またはその他の虚血性血管疾患 ■下肢の広範な浮腫またはうっ血性心不全による肺浮腫 ■下肢の極度な変形 ■深部静脈血栓症の既往症が疑われる患者 ■深部静脈血栓症および肺血栓塞栓症を併発している患者

## 次の患者へのフットカフを装着しての使用禁止：

■心臓への灌流の増加による障害が生じる可能性がある患者 ■うっ血性心不全 ■深部静脈血栓症、静脈血栓症および肺血栓塞栓症の既往症の患者 ■本品を感染症及び下肢の感覚のない患者に使用する際は注意すること。

## Kendall SCD™ エクスプレス 使用方法

1. コントローラは、ベッドフックを使用して治療台に設置するか、または水平な場所に設置する。
2. スリーブの内側（コネクタが出ていない面）に脚部（足）を乗せる。
3. 面ファスナーで固定をする。スリーブを指2本の余裕があるくらいで巻きつけ、きつく締めすぎないようにする（フットの場合は踵ストラップはぴったり巻きつけ、甲部分は指1本の余裕があるくらい）。
4. 左右兼用となるので両足同じように巻きつける。
5. 接続チューブを用いて、コントローラにフットカフまたはスリーブを接続し、青い矢印がそろるように接続する（ねじれ、折れがないように）。
6. 電源コードを商用電源に接続する（内部電源を使用する場合はこの操作は不要）。
7. 電源オン/スタンバイボタンを押し、作動させる。
8. 自動システムチェック後、スリーブ種類を選択すると（脚部の場合自動で）、ポンプが作動する。

## 使用上の注意

### 1. 重要な基本的注意

- (1) 下肢の一部に圧力が偏ることを防ぐため、本品が患者の下肢に正しく装着されていることを確認すること。
- (2) 本品とコントローラが正しく接続されていることを確認すること。
- (3) 接続チューブの折れやもつれ、ねじれがないようにすること〔通気を妨げる可能性があるため〕。
- (4) 使用中はスリーブ装着部の皮膚を定期的に観察すること。
- (5) スリーブ装着部の皮膚に、発赤、かぶれ、水疱等が認められた場合は本品を取りはずし、適切な処置を行うこと。
- (6) 患者がしびれ、刺痛又は下肢の痛みの訴えた場合は、本品を取りはずすこと。

### 2. 不具合・有害事象

本品の使用に際し、以下のような有害事象が生じる可能性がある。異常が認められたら直ちに使用を中止すること。

- (1) コンパートメント症候群
- (2) 腓骨神経麻痺
- (3) 尖足
- (4) 接触性皮膚炎
- (5) 肺血栓塞栓症

医療機器認証番号：218AABZX00088000  
販売名：SCD エクスプレス

医療機器認証番号：223AABZX00029000  
販売名：SCD700 シリーズ

スリーブ、フットカフは同一患者使用です。複数の患者に使用しないでください。

・ご使用の際は、必ず添付文書及び取扱説明書をお読みください。

# アラームコード及び対処方法

アラームのコード	故障タイプ	説明	対処法
	スリーブの ミスマッチ	選択したチューブとスリーブが一致しない	形状選択ボタンを押しなおす
1	システム高圧 エラー	システム圧が12.0kPa (90mmHg) (レッグスリーブ) または、24.0kPa (180mmHg) (フットカフ) を超過	<ul style="list-style-type: none"> <li>チューブのチェック (折れ、もつれ、ねじれ等)</li> <li>スリーブ着用状態のチェック</li> <li>チューブの接続チェック</li> <li>スリーブとチューブのリークチェック (漏れの場合、チューブスリーブの交換)</li> <li>本体の電源を入れなおす</li> </ul>
2	高圧エラー	レッグスリーブ圧が10回サイクル後6.3kPa (47mmHg) より高く、5回サイクル後8.7kPa (65mmHg) より高い フットカフ圧が10回サイクル後18.0kPa (135mmHg) よりも高く、5回サイクル後21.3kPa (160mmHg) より高い	
3	低圧エラー	レッグスリーブ圧が10回サイクル後、5.7kPa (43mmHg) より低いフットカフ圧が10回サイクル後、16.7kPa (125mmHg) よりも低い。または、スリーブが接続されていない	
4	システム圧 エラー	12回サイクル後も適正圧にならない	<ul style="list-style-type: none"> <li>スリーブ着用状態のチェック (緩すぎ、きつすぎ)</li> <li>本体の電源を入れなおす</li> </ul>
	バルブエラー	バルブの電氣的故障	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体の電源入れなおす</li> </ul>
	ソフトウェア エラー	スタート時のテストに不合格	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体の電源入れなおす</li> </ul>
	ポンプエラー	ポンプの電氣的エラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体の電源入れなおす</li> </ul>
	通気エラー	スリーブ内圧が開放後も2.7kPa (20mmHg) 以上ある 加圧サイクル中の検知圧が0.7kPa (5mmHg) 以上にならない	<ul style="list-style-type: none"> <li>チューブのチェック (折れ、もつれ、ねじれ等)</li> <li>スリーブ着用状態のチェック (緩過ぎ、きつすぎ)</li> <li>チューブの接続チェック</li> <li>本体の電源を入れなおす</li> </ul>
9 バッテリーインジケータ-1	低バッテリー アラーム	バッテリー残量10分以下 (電力のある限り、継続して動く)	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードをコンセントに差し込む (問題が続く場合はバッテリーの交換)</li> </ul>
10 バッテリーインジケータ-1	バッテリー エラー	バッテリーキャリブレーションのエラーまたはバッテリーの故障	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体の電源を切ってから医用コンセントに接続し、電源を入れなおす</li> </ul>
エラーインジケータ-5と7 	温度エラー	本体内部温度5℃以下もしくはは55℃以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体周囲が塞がっていないかを確認。</li> <li>電源を切り温度を下げたから再起動する</li> </ul>

解決しないエラーや問題が続く場合は、最寄りの弊社営業所または代理店にお問い合わせください。

お問い合わせ先  
カーディナルヘルス株式会社

Tel: 0120-917-205

©2018 Cardinal Health. All Rights Reserved. CARDINAL HEALTH, Cardinal Health ロゴ及び ESSENTIAL TO CARE, KENDALL SCD 及び USC D エクスプレスは Cardinal Health の商標又は登録商標です。

  
**Cardinal Health**  
Essential to care™

mt-cp-qui3  
2207.PDF.SZX